

(1) 単元名

おすすめ図書カードを作ろう

(2) 本単元についてのつまずき

柏市学力・学習状況調査の結果より, 指定された長さで書くことや, 2段落構成で書くこと, 自分の思いや考えが明確になるように書くことなど, 「書くこと」のつまずきが見られる。

(3) 実態解消に向けた指導例

① 学習指導要領との関連

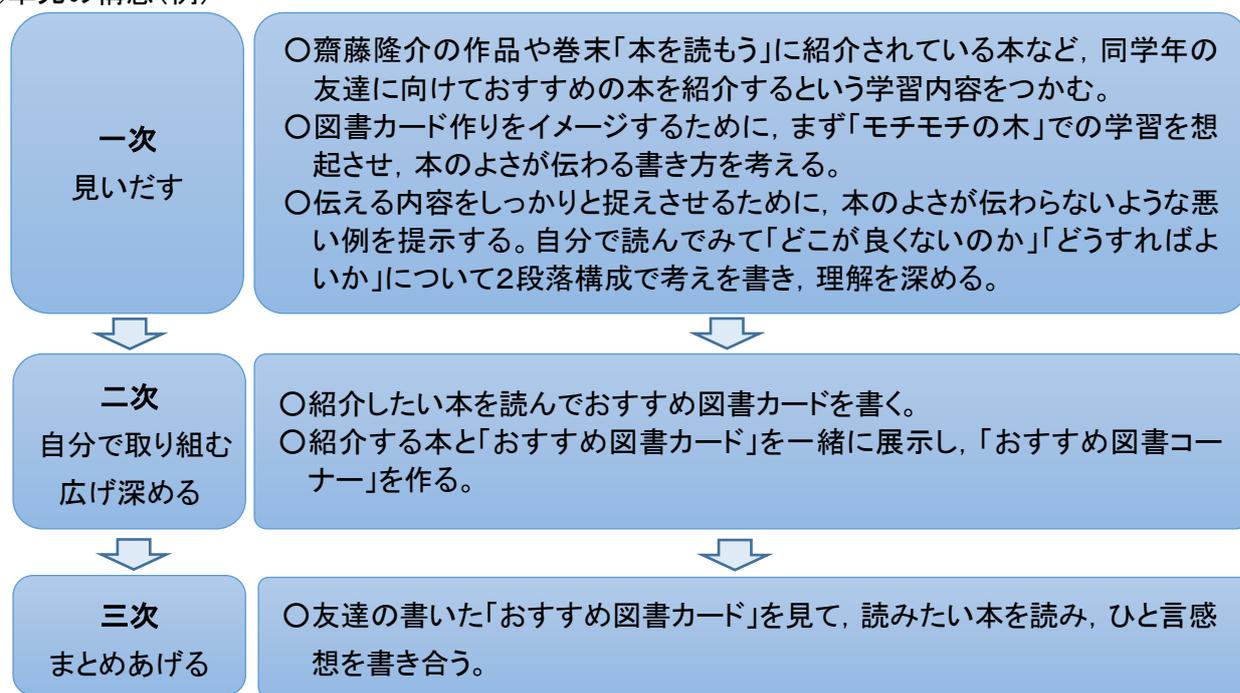
○相手や目的を意識して, 経験したことや想像したことなどから書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にすること。
(思考力, 判断力, 表現力等 B 書くこと - ア 題材の設定, 情報の収集, 内容の検討)

○文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつこと。
(思考力, 判断力, 表現力等 C 読むこと - オ 考えの形成)

② つけたい力に合った言語活動

同学年の友達へおすすめ図書カードを作ろう

③ 単元の構想(例)



④ 指導のポイント!

段落を意識して書けるように働きかけていくことをねらいとしてこの単元を設定した。おすすめ図書カードを書くときに2段落構成で書くことを条件にし, 例えば, 主人公の気持ちの変化と, それに対する自分の思いを書くという構成などを考えるようにする。

おすすめの図書以外にも, 図書カードの悪い例を読み, 批判的な意見を書かせることを単元の中に取り入れてみた。柏市学力・学習状況調査の問題傾向を見てみると, 文章を読んで理解したことに基づいて自分の感想や考えを(批判的な考えも含めて)もつことが小学校中学年に対して求められている。この単元に限らず, 批判的な意見を書かせるといった活動を要所要所に設定できるとよい。

友達からの図書の紹介は効果的である。たくさんの本を読ませ, 感想をもたせることも大切にしていきたい。